

Q. 琉球王国時代の琉球人は中国語が話せたの？

A. ごく一部の人が実用レベルの中国語を使うことができた、というのが実情に近いと思われます。琉球は14世紀末より中国（明・清）を宗主国として朝貢するようになりましたが、その際、通訳や文書作成など琉球の外交をサポートするために、「閩人三十六姓」と呼ばれる人々が明の皇帝から琉球に与えられました。彼らは今の那覇市久米のあたりに「久米村」という集落をつくり、久米村土族を形成して外交人材を輩出してきました。

そう聞くと、彼らは中国にルーツを持つ人々なのだから、中国語は自然と身についたのだらうと思ってしまうようになりますよね？ しかし、そうではないのです。第一世代が琉球に来てから50年、100年と時間が経つにつれて、久米村も琉球で生まれ育った世代に置き換わっていきます。次第に琉球語が彼らの母語となり、日常的には琉球語を話すようになります。彼らにとっても中国語は「学んで習得する」ものになっていったのです。

彼らは、手始めに『三字経』や『孝経』といった童蒙書（子供向けの教材）を学び、次に四書五経の学習に入っていき、中国でもおなじみの学習コースをたどって勉強していきます。中国と違うのは、学習の時に使ったテキストは、もとは中国の本ですが、日本で返り点や送り仮名をふって覆刻された「和刻本」を使うことが多かったという点です。つまり、最初は、中国語の本を中国語で読むのではなく、訓読して母語で内容を理解した後、中国語の発音・中国語の語順で重ねて学習するという方法がとられました。

このようにして基礎を身につけた後は、留学でさらなる研鑽をはかります。琉球の留学制度は二通りの方法に分けられます。一つは国王一代につき一度、中国の最高学府である国子監という学校に派遣されるルートで、その留学生を「皆生」と呼びます。詩文や漢文の素養、公的な文書の作成技術を磨きました。清代にはこの官生に加え、もう一つの留学ルートが生まれます。官生派遣を国費留学とすれば、この方法は自費留学にあたり、「勤学」と呼ばれました。留学先が福州とまりであったことや地理学・医学・暦法などの実学を選択的に学んだ者もいたことが勤学の特徴と言えるでしょう。

幼少期から勉強してきたとはいえ、留学するにあたってネイティブの人たちとの外国語での会話は難関です。彼らは口語の中国語（「官話」と言います）をどのように学んでいたのでしょうか。実はその様子を垣間見せてくれる資料がいくつか残っています。例えば、法政大学沖縄文化研究所に所蔵されている『官話』は、今でもよく見る『O字で話す会話帳』のような体裁です。「这个事 クノクト」や「拿一壺酒來 ヒトツボノサキムチクフ」のようにカタカナで訳が付された漢語フレーズが列挙されています。訳文がしっかり方言訛りなのがリアルでもあり、ほっこりもしますね。また、天理大学図書館蔵の『官話問答便語』は場面別の実践会話集です。現在の外国語学習テキストに通じる形がすでに存在したことに驚きますが、こういった学習教材には、発音や声調をメモしたもの、意味の補足など、かつての所有者の書き込みを見ることができます。当時の琉球人が一生懸命に勉強に励んだ痕跡であり、留学への意気込みと覚悟を目の当たりにするような気がします。このような教育と留学経験を得ることができたのは、琉球王国500年の間に約1300人と言われます。「中国語が話せる」レベルにもよりますが、実務に不便のない水準まで到達した琉球人は限定的だったのではないのでしょうか。（本村）

参考資料

- 瀬戸口律子『官話問答便語全訳—琉球官話課本研究—』榕樹書林、2005年
『琉球官話課本の研究』榕樹書林、2011年
高津孝『琉球漢籍入門』北斗書房、2025年
高橋俊三『琉球王国の初等教育—八重山における漢籍の琉球語資料』榕樹書林、2011年
深澤秋人「渡唐使節における勤学人」『近世琉球中国交流史の研究—居留地・組織体・海域—』榕樹書林、2011年
前田舟子「明清時代の琉球官生派遣年表について」『中国と琉球 人の移動を探る—明清時代を中心としたデータの構築と研究』彩流社、2013年

利用案内

開館時間：9時～20時
休館日：毎週火曜日、年末年始、特別整理期間
※図書館専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください

- 館内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください。飲み物は倒れても中身のこぼれない容器に限りお持ち込みいただけます
※5階郷土資料室は完全飲食禁止です
携帯電話などの通信機器はマナーモードに設定してください。お電話は4階・5階の電話ボックスをご利用ください
館内は撮影禁止です。撮影には別途申請が必要です

沖縄県立図書館 公式X (旧Twitter)
フォロワー数 全国県立図書館 No. 1
沖縄県立図書館 公式Facebook
沖縄県立図書館 公式YouTube
よ3しお新編します!

図書館カレンダー-9月
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30
は休館日です。

いま、あらためて。防災を考える9月

9月は「防災月間」です。近年、自然災害への備えがますます重要になってきています。県立図書館では、防災に関するさまざまな資料や情報を取り揃えています。いざという時に備えるためにも、ご家族で防災について話し合ってみるのはいかがでしょうか。安心・安全な暮らしを送るために、この機会にぜひ図書館の資料をご活用ください。



イベント 読書バリアフリー講演会「誰もが読書できる社会を目指して」

内容 「もっと読書バリアフリーについて理解を深めたい・・・」「図書館でさらに取り組めることはないか・・・」とお困りではありませんか？「誰もが読書できる社会を目指して」をテーマに、専修大学より野口武悟先生をお招きして講演会を開催いたします。
日時 2025年9月5日(金)16:30～18:00 (16:00開場)
場所 県立図書館3階ホール
定員 80名(要予約)
対象者 図書館職員、教職員、行政職員、読書バリアフリーに興味のある方
申込方法 お電話、カウンター窓口、右QRコード



読書バリアフリー講演会
9月5日 16:30-18:00
講師 野口 武悟 先生
098-894-5858

空とぶ図書館 9月の開催地域

沖縄県立図書館では、離島や北部地域の住民の皆様読書機会を提供するため、町村教育委員会と連携し、空とぶ図書館(移動図書館)を開催しています。



日時 9月11日(木) 13:00～14:30
場所 竹富町(鳩間島) 鳩間島コミュニティセンター
貸出冊数 ひとり15冊 貸出期間 1か月



※会場の鳩間島コミュニティセンター前回の様子

「宜野湾市学校図書館関係職員合同研修会」に参加しました！

去る8月18日、宜野湾市学校図書館関係職員合同研修会が開催され、県立図書館から職員2名が講師として登壇しました。今回の講演テーマは「図書館教育に求められるもの～司書と教員の連携を通して」です。当日は、宜野湾市をはじめ、うるま市や豊見城市の学校図書館司書・司書教諭・校長先生など、多くの皆さまにご参加いただきました。また、沖縄国際大学の山口真也先生や琉球大学の望月道浩先生にもご登壇いただき、大変充実した研修会となりました。意見交換会では、各学校が抱える課題や取り組みの工夫について活発な意見が交わされ、公立図書館と学校図書館の連携のありかたや、学校図書館の現状を共有する貴重な機会となりました。今回の研修が、今後の図書館教育のさらなる発展につながることを願っています。



登録スタッフ おすすめ / 沖縄県立図書館では、**毎週水曜日**に新着図書が新着図書コーナーに展示されます。ここでは「県立図書館の本のデータ登録」をしているスタッフが「これぞ！おすすめ！」と感じた本をご紹介します。※こちらで紹介された本は新着図書コーナーに展示した後、それぞれ本棚に戻されます。貸出、予約は資料コードをご活用ください。

郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階 一般図書 4階

**フォトコンテスト 島の魅力 第16回（令和6年度）**  
 沖縄県建設業協会青年部会／編 出版社：沖縄県建設業協会青年部会  
 出版年：2025(令和7).2  
 資料コード：1010408894  
 沖縄の建設業で働く人々や、建設業が生み出す構造物の美しさ・迫力を写真で楽しめる一冊です。  
 「人の部」「造の部」などをテーマにした受賞作品には、職人の技術力や表情が鮮やかに映し出され、建設業の「魅力」「働く喜び」「造る誇り」が伝わってきます。建設業界への理解を深め、その魅力を再発見できる写真集です。

**星の教室**  
 高田 郁／[著]  
 出版社：角川春樹事務所 出版年：2025.2  
 資料コード：1010525234  
 義務教育を終えられず生きづらさを抱える二十歳のさやかは、夜間中学の存在を知り入学する。そこは、さまざまな事情で学びの機会を失った人々が集う場だった。仲間との交流の中で心を解きほぐされ、やがて密かな夢を抱き始めるさやか。『一歩踏み出したい』と願うすべての人に贈る、心を揺さぶる物語です。

**オキナワより愛を込めて**  
 [パンフレット] FROM OKINAWA WITH LOVE  
 真栄城 潤一／編集・執筆 出版社：ムーリンプロダクション  
 出版年：2024(令和6).8  
 資料コード：1010617684

**こんなに痛いのにどうして「なんでもない」と医者に言われてしまうのでしょうか**  
 遠藤健司／著、奥野 祐次／著 出版社：ワニ・プラス、ワニブックス(発売) 出版年：2025.2  
 資料コード：1010520482  
 四十肩・五十肩や腰痛、ばね指などの慢性的な痛みの原因は、「モヤモヤ血管」かもしれません。本書では、湿布や痛み止めでは改善しにくい症状について、2人の専門医が最新の治療法とセルフケアをわかりやすく解説。日常的な痛みに悩む方や自己ケアを学びたい方におすすめです。

沖縄出身の伝説的写真家・石川真生が、自身の初期作品を振り返りつつ当時の様子を語る、自伝的ドキュメンタリー映画「オキナワより愛を込めて」のパンフレットです。写真家としての石川真生のルーツをたどりながら、作品の背景となった歴史、政治、人種差別、そしてそれら乗り越える力を、石川の写真とともに描き出します。沖縄の歴史や文化、社会問題、そして写真表現に興味のある方におすすめです。

**奇跡の会社**  
 障がい者雇用率100%の株式会社かなせ業界トップクラスであり続けるのか  
 那波 和夫／著 出版社：あさ出版 出版年：2025.1  
 資料コード：1010522249  
 障がい者の働く場を創出し、自治体委託で廃棄物処理場を運営する「株式会社障がい者つくし更生会」。法定雇用率100%超、離職者ゼロを補助金なしで達成した全国でも稀な企業です。本書では、SDGsや多様性経営が注目される前から「人を大切に経営」を実践してきた取り組みを経営者が紹介。障がい者雇用や持続可能な経営に関心のある方におすすめです。

**Retrace 音をたどる**  
 [複合媒体資料] Sound from Yaeyama 八重山からの音 2024  
 大工 哲弘／[述]、その他 出版社：ピース・ウィンス・ジャパン  
 出版年：2024(令和6).10  
 資料コード：1010472452  
 2023年に、八重山を中心に活動する音楽家を音源やテキストで記録・発信するプロジェクト「Retrace/音をたどる」がスタートしました。本書では、大工哲弘・日出克・金城弘美の3人へのインタビューを通して、その人柄や音楽、そして八重山の視点から見た歴史を知ることができます。八重山の音楽や文化に興味のある方、島の歴史や人々の暮らしを音を通して感じたい方におすすめです。英文併記（ライブ音源CD付き）。

**奇跡の会社**  
 障がい者雇用率100%の株式会社かなせ業界トップクラスであり続けるのか  
 那波 和夫／著 出版社：あさ出版 出版年：2025.1  
 資料コード：1010522249  
 障がい者の働く場を創出し、自治体委託で廃棄物処理場を運営する「株式会社障がい者つくし更生会」。法定雇用率100%超、離職者ゼロを補助金なしで達成した全国でも稀な企業です。本書では、SDGsや多様性経営が注目される前から「人を大切に経営」を実践してきた取り組みを経営者が紹介。障がい者雇用や持続可能な経営に関心のある方におすすめです。

**展示のご案内** — 図書館で予定されている展示をご紹介します。特に記載がない場合は、3階展示エリアでご覧いただけます。 —

8/20～9/8	沖縄県 科学技術振興課	学費無料で留学ができる「小渕沖縄教育研究プログラム」でハワイへ留学してみませんか？
8/20～9/8	沖縄県 企画調整課	SDGs月間啓発展示
8/27～9/8	沖縄県女性就業・労働相談センター	センター紹介展示
8/27～9/29	第一管区海上保安本部	水路記念日パネル展
9/3～9/29	沖縄県 健康長寿課	健康増進普及月間パネル展
9/10～9/15	沖縄県 下水道課	「下水道の大切さを一緒に考えてみませんか？」パネル展示
9/10～10/6	沖縄県 文化財課	『沖縄県史ビジュアル版沖縄戦』紹介展示
9/17～9/29	沖縄県 生活安心安全課	令和7年秋の交通安全運動パネル展
通年	沖縄県 生涯学習振興課	おきなわ県民カレッジの研修内容に合わせた展示を開催します。・8/13～9/1「発掘調査で見つかった沖縄戦の痕跡」「文化財としての戦争遺跡—32軍司令部壕調査成果を中心に—」・9/3～9/29「首里城復興について」
通年	JICA沖縄	開発途上国・SDGs・国際協力を知る資料やJICA沖縄の施設・事業を紹介します。
5/7～9/29	沖縄県立芸術大学	沖芸 Book List10選 Vol.16（4階）
6/18～9/8	沖縄県立芸術大学	沖芸サテライトミニギャラリー 島袋克史陶展（4階）

**自主企画展示**

8/27～9/8	筋肉を考える日展示
9/10～9/22	かん征圧月間展示
9/24～10/6	お酒とおつまみ
8/27～9/8	野菜の日展示（4階）
8/27～9/29	大城立裕生誕百年記念展示（5階）

※展示によっては日程等変更がある可能性もあります。

**3階 子どもの読書活動推進エリア**

9/3～9/15	【児童】黒い本
9/17～9/29	【児童】「 展示」(内容はお楽しみに！)
8/13～9/1	【ティーンズコーナー】タテモノの本展示
9/3～9/22	【ティーンズコーナー】情報技術展示
9/24～10/13	【ティーンズコーナー】身の回りの法律展示

**わらびんちゃ～だより**

3階子ども読書活動推進エリア担当職員が今月のおすすめ本を紹介します♪

**9月5日は「国民栄誉賞の日」**

9月5日は「国民栄誉賞の日」です。国民栄誉賞は、広く国民に愛され、尊敬され、社会に希望と夢をあたえた人におくられます。これまでに、スポーツ選手や芸能人などいろいろな分野の人がもらっています。そこで今月は、国民栄誉賞をもらった3名のおはなしを紹介します。

児童担当いとうちゃん

**小学3～4年生におすすめ**

羽生結弦 あくなき挑戦の軌跡  
 高岡 文博／著 汐文社 2018.4

資料コード 1008674093

**小学5～6年生におすすめ**

高橋尚子 走る、かがやく、風になる、くよくよ考えるまえにいま、自分ができることをする  
 早野 美智代／著 旺文社 2002.3

資料コード ■2000692455 ■1004051197

史上2人目となるオリンピック連覇を果たした羽生結弦選手。ケガやさまざまなアクシデントを乗り越えながら挑戦を続け、その努力と不屈の精神は多くの人に感動を与えてきました。スポーツに励む子どもたちはもちろん、困難に挑む勇気を持ちたいと願うすべての方におすすめです。

子どものころから走ることが大好きだった、Qちゃんこと高橋尚子さん。シドニー・オリンピックでは日本女子マラソン初の金メダルを獲得し、その後ベルリンマラソンでは当時の世界記録を塗り替える快挙を成し遂げました。本書は、その道のりをたどりながら、努力と挑戦の軌跡を描いた伝記です。夢に向かって頑張る勇気をもちたい人、スポーツに打ち込む子どもたちにぜひ読んでほしい一冊です。

**小学5～6年生におすすめ**

植村直己 エベレストから極点までを駆けぬげた冒険家  
 本庄 敬／まんが、滝田 よしひろ／シナリオ 小学館 1996.6

資料コード 1004013858

世界最高峰の山エベレストに日本人として初めて登頂し、さらに世界で初めて五大大陸の最高峰を制覇した冒険家・植村直己さん。常に優しく努力を忘れず挑戦を続けた、その生涯を描いたまんが伝記です。大きな夢に挑戦したい人、困難に立ち向かう勇気を持ちたい人にぜひ読んでほしい一冊です。

スポーツといっしょに本もどうぞ！

**9月のおはなしの森**

おはなし会は参加無料で、約30分間行います。どうぞお気軽にご参加ください。

場所 県立図書館3階 おはなしの森

日時 9月18日(木)10:30～ 定例おはなし会  
 9月20日(土)10:30～ 世界の絵本読み聞かせ会  
 9月25日(木)10:30～ えいごでおはなし会

**統計！県図書** — 県立図書館の利用や蔵書の動きを数字で紹介するコーナーです。 —

**7月の本館のようす** 2025.7.1～7.31

入館者数	貸出冊数	返却冊数
35,811人	30,239冊	24,485冊
1日平均入館者数 1,377人		

**一括貸出サービス利用件数**

一括貸出サービスは、たくさんの本を団体を無料へ無料で長期間貸出しするサービスです。このサービスは、読書推進を行う幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、高校、特別支援学校、教育委員会、公民館、文庫、図書館、学童、その他団体が利用可能です。サービスの内容など詳細は右QRコード、県立図書館ホームページをご覧ください。

2025.4.1～8.19までの累計

利用団体数 113件	貸出冊数 16,967冊
------------	--------------

QRコード